

2019年度 首長・議員懇談会報告

みやぎ生協は、宮城県内の首長・県議会議員・仙台市議会議員と地域のメンバー（組合員）とで年に1回懇談会を開催しています。また、宮城県選出の国会議員との懇談も開催しています。
2019年度の開催状況を報告します。

懇談テーマ

「誰もが安心してらせる地域づくり」をテーマの中心において、くらしやすいまちづくりをみんなで考えます。みやぎ生協の活動を伝え、地域で共に取り組めること、くらしの向上のために連携できることを話し合います。

1. 「誰もが安心してらせる地域づくり」のための取り組みや計画、課題について協働で取り組めることについて
2. 子育て支援全般の取り組みや計画について、住民やみやぎ生協と協働で取り組めることについて
3. 自分の住むまちの良いところや地域で多くの人が困っている現状や解決して欲しい要望を伝え、自治体と一緒に力を合わせて取り組むことについて

懇談一覧

	開催数 (昨年)	開催地域 (開催順)	参加者数(人)	
			生協メンバー (昨年)	首長・議員数 (昨年)
首長懇談	28 (31)	栗原市、登米市、岩沼市、東松島市、涌谷町、気仙沼市、山元町、名取市、松島町、色麻町、富谷市、利府町、大和町、加美町、大衡村、塩竈市、七ヶ宿町、石巻市、柴田町、亘理町、南三陸町、七ヶ浜町、角田市、大河原町、女川町、美里町、白石市、多賀城市	235 (297)	28 (31)
県議懇談	8 (7)	仙台市宮城野区、加美、遠田、大崎、仙台市青葉区、泉区、若林区、太白区	228 (219)	18 (14)
市議懇談	4 (5)	仙台市青葉区、若林区、宮城野区、太白区	197 (193)	19 (23)
国会議員	1 (2)	宮城県第2区	8 (38)	1 (2)
計	41 (45)		668 (747)	66 (70)

〈国会議員との懇談会〉



秋葉賢也衆議院議員

2019年12月14日 みやぎ生協文化会館ウィズ

みやぎ生協 大越健治専務理事、齊藤秋花理事、反畑明実理事、藤本富江理事、松木弥恵理事、緑上浩子理事、エリアリーダー1人、事務局2人

台風19号による被災者への支援には多くのボランティアが関わりとても感謝しています。近年災害が常態化しており地域の要支援者にどうアクセスするのか、また支援する人が地域にいない現状は大きな課題で、国としてどのような支援ができるのかを考えます。

〈首長懇談会の様子〉

宮城県内の首長・県議・仙台市議とメンバー（組合員）が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

〔主な懇談内容〕（開催月日順）

栗原市 千葉健司市長 8月7日 栗原市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小野幸恵理事、メンバー9人



市民や福祉関係者による「おとなの居場所づくり」検討委員会を立ち上げ男性が気軽に立ち寄れる事業を検討しています。子育て世代への経済的な負担軽減として、保育料の2人目無償化や18歳未満の子どもの医療費の自己負担の無償化を行っています。「第2期栗原市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

登米市 熊谷盛廣市長 8月22日 登米市役所
みやぎ生協 小澤義春執行役員、小野幸恵理事、メンバー6人



誰もが安心してくらせる地域づくりとして、医師や看護師の確保を目的とした奨学金制度や、登米市民病院の基幹型臨床研修病院の指定を目指すなど医療体制の整備に取り組んでいます。完成した新クリーンセンターは焼却エネルギーを活用した発電を行うなど「エネルギー回収推進施設」の役割を担っています。

岩沼市 菊地啓夫市長 9月30日 岩沼市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、メンバー9人



小中学校では毎月いじめアンケートを実施し早期発見につなげています。小学校5年生と中学校2年生を対象に「いじめこどもフォーラム」を実施し子ども自身に考えてもらう機会としています。子育て世代が住みやすい市になるように企業誘致や、地域ぐるみで子どもの見守りを進めています。

東松島市 渥美巖市長 10月11日 みやぎ生協東松島ハーモニー
みやぎ生協 大越健治専務理事、田中祥江理事、メンバー12人



子育て支援として18歳までの子ども医療費の助成や保育園誘致、放課後児童クラブの定員拡充等を行っています。みやぎ生協の子育てひろば「はぼたん」は今後町の子育て通信へ掲載し情報発信する予定です。メンバー集會室ハーモニーで開催の「ひまわりカフェ」は地域住民の居場所となっています。

涌谷町 遠藤釈雄町長 10月11日 涌谷町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、石川雅子理事、メンバー7人



町の高齢化率が35.1%で、介護保険のついでや認知症カフェを開催し健康・社会参加につなげています。メンバーが参加している生活支援協議体では、SOSネットワーク作りについて検討しています。育児放棄や虐待防止対策として、みやぎ生協の「すくすく箱」を活用しています。

気仙沼市 菅原茂市長 10月24日 気仙沼市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小野幸恵理事、メンバー5人



共催した「認知症カフェ」を3回開催し協働の取り組みとなっています。認知症の方やその家族を支える地域づくりが推進されるので今後も継続します。子育てひろば「ひまわり」のメンバーと交流を図りながら、子育て支援策「プロジェクト1.90」の合同ワーキングの実施に向けて協議していきます。

山元町 樋口保副町長 11月19日 山元町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、メンバー8人



今年から子育て定住推進課が独立しました。移動式ベビーステーション貸出し事業、子育て情報発信事業、子育てハンドブック配布事業、すくすく幼児教育事業など新たな事業を開始しました。子育て世代に重点を置いた制度にリニューアルし、町への移住や定住を積極的に支援しています。

名取市 山田司郎市長 11月20日 名取市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、吉原直美理事、メンバー18人



子育てや教育の先進地とするために、2020年4月から学校給食費を段階的に無償にします。「元気なとり」減塩プロジェクトとして、市の職員による減塩学習会を名取西店で行い好評でした。昨年の懇談会で「相互台にお買い物バスを検討してほしい」との市からの要望により「せいきょう便」が運行することになり、協働の取り組みとなりました。

松島町 櫻井公一町長 12月9日 松島町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー5人



町の婦人防火クラブでローリングストック学習会を開催、協働の取り組みとなりました。高齢者ふれあいサロン事業は広がりがみられますが、活動の担い手が不足している状況なので、こゝま委員会と情報交換しながら協働の取り組みができれば検討していきます。

色麻町 早坂利悦町長 12月10日 色麻町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、石川雅子理事、メンバー4人



町政40年ですが町民は6800人を割り人口減となっています。少ない人口であっても町が衰退しない取り組みを様々な行っています。小学校・中学校・幼稚園の給食費の4分の1を助成する学校給食軽減事業や、小学校校庭の芝生化の完了で子どもたちが過ごしやす環境は整いつつあります。

富谷市 若生裕俊市長 12月16日 みやぎ生協明石台店
みやぎ生協 大越健治専務理事、湊加津江理事、メンバー14人



「富谷市子どもにやさしいまちづくり」の推進を宣言し、とみやわくわく子ども会議を開催するなど「子どもにやさしい地域づくり」を目指しています。5月にニーズ調査をおこない、今年度中にはそれを反映させた子ども子育て支援事業計画を作成します。今後は子育てひろばやふれあいカフェの情報提供なども行います。

利府町 熊谷大町長 12月16日 利府町役場
みやぎ生協 小澤義春執行役員、緑上浩子理事、渡邊弘美理事、メンバー5人



10月から新たに小学校就学前の3年間の給食費を助成する事業を実施しています。2020年4月には2カ所目の児童館を整備します。「こどものまち事業」への協賛や出店、児童館や子育て支援センターへの講師派遣など協働で取り組むことができます。「せいきょう便」の運行ニーズが高いので今後も引き続き検討していきます。

大和町 浅野元町長 12月18日 みやぎ生協大富店
みやぎ生協 大越健治専務理事、湊加津江理事、メンバー8人



協働の取り組みとして2カ所の児童館で「食育講座」「おこづかいゲーム」を開催しています。たいわ子育て応援サイトや子育て情報誌「ぼっかぽか」に大富店で開催される「子育てひろばひまわり」の情報の掲載できるかどうか検討していきます。

加美町 猪股洋文町長 12月18日 加美町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、石川雅子理事、メンバー6人



合併して17年、人口は5,000人減っていますが、国立音楽学院には町内外から40人入学し人口減に歯止めをかけています。加美公立病院の維持が大変難しく、国の再編・統合検討病院に該当していますが、町の公立病院をなくすわけにはいかないと思っています。

大衡村 萩原達雄村長 1月21日 大衡村役場
みやぎ生協 小澤義春執行役員、湊加津江理事、メンバー5人



小規模保育園を開設し待機児童は0になりました。4月から給食費の完全無償化を実施しています。子育て世代にアンケートを実施し、今の子育てには何が必要なのか検討しながら第2期の子ども子育て支援事業計画を作成中です。ひとり親世帯にも支援を厚く、子育てしながら安心して暮らせるまちづくりを行っています。

塩竈市 佐藤光樹市長 1月23日 みやぎ生協塩釜杉の入店
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー22人



ひとり親世帯やダブルケア世帯（育児と親の介護を同時に行っている世帯）を支援する「ファミリーサポートセンター利用料の補助制度」を開始しました。子育て世代を取り巻く環境の変化に対応した「第2期のびのび塩竈っ子プラン」を策定中です。

七ヶ宿町 小関幸一町長 1月27日 七ヶ宿町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、職員2人



誰もが安心して暮らせる地域づくりの取り組みとして、東京圏からの移住者を対象とした移住支援金の支給や、子育て世帯向けの宅地貸し付けや譲渡事業を開始しました。みやぎ生協のこぶの森を七ヶ宿町に誘致できるので今後開設できるかどうか検討していきます。

石巻市 亀山紘市長 1月31日 みやぎ生協蛇田店
みやぎ生協 大越健治専務理事、田中祥江理事、メンバー27人



「第2期子ども子育て未来プラン」を作成中ですが、子育て家庭の仕事と子育ての両立を支える課題整備や子どもの貧困対策の視点の取り組みの推進を検討しています。社会全体で子育て支援を進めていくのが重要なので、みやぎ生協とは引き続き協働の取り組みを進めていきます。

柴田町 滝口茂町長 2月4日 柴田町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、メンバー4人



台風19号21号の建物の被害は1,754件で避難所は9カ所開設し、避難者は1,373人でした。ほかに自主防災組織において集会所を5カ所開設しました。しかし情報発信や避難所運営のあり方を再度備える必要があります。防災教育は、社会福祉協議会の「防災福祉体験学習」出前講座や災害時ボランティア活動の学習をしています。

亘理町 山田周伸町長 2月5日 亘理町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、メンバー7人



町の復興事業は2020年度でほぼ完了予定で、庁舎敷地内には防災備蓄倉庫を建てます。避難道路は初めて通った人でもどちらに逃げればいいのかわかるように案内板を建てます。子育て支援の状況は、保育所の待機児童は少なくなっていますが、児童クラブの待機児童が多くなっているため増設を検討しています。

南三陸町 佐藤仁町長 2月12日 南三陸町役場
みやぎ生協 菅原忠宏統括、小野幸恵理事、メンバー10人



復興まちづくりを進める上で災害に強いまちづくりを目指した土地利用、公共施設の配置を行っています。現在すべての公民館の復旧が完了し、多くの公園や広場等も整備しています。必ずしも学校の近くに公共施設がある状況ではありませんが、高齢者や子どもの居場所として活用してほしいと思います。

七ヶ浜町 寺澤薫町長 2月13日 七ヶ浜町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー10人



子育て支援センターで開催している子育て世帯の情報交換や仲間づくりの場である「すまいる広場」では、保健師や保育士が子育ての相談をしています。平日開催のみで休日開催の要望がありますが、スタッフの確保が難しいため、近隣の町で開催している場を情報提供しています。

角田市 大友喜助市長 2月13日 角田市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、メンバー5人



台風19号による避難所開設は17カ所1,030人、自主避難所4カ所125人でした。浸水により孤立した避難所もありましたが、収容できない避難者はいませんでした。川の氾濫警戒情報はインターネットやテレビのデータ放送から確認ができるので、入手方法を周知していきます。子どもの防災教育として中学校ではボランティア活動について学んでいます。

大河原町 齋清志町長 2月17日 大河原町役場
みやぎ生協 菅原忠宏統括、佐藤由紀理事、メンバー4人



台風19号の町の被害状況は8億7,729万円で、住宅の被害は314件でした。避難所は8カ所、避難場所1カ所です。1,445人が避難しました。子どもの防災教育は今回の台風がきっかけとなり、大河原中学校の防災プロジェクトチームを結成。大規模水害を想定した避難所開設と避難者約50人の受け入れ訓練を行いました。

女川町 須田善明町長 2月17日 女川町役場
みやぎ生協 小澤義春執行役員、田中祥江理事、メンバー8人



「女川町総合計画2019」を策定しこれからの新たな10年に向けた町政の基本的な方針を示しました。復興事業は概ね進んでいて、現在防災シミュレーションマップを作成、配布しています。子育て世代を支えやすいように子育て支援課を一本化したいと考えています。公園遊具の設置は2020年の秋頃になる予定で子どもたちの居場所になればと思います。

美里町 須田正好副町長 2月18日 美里町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、石川雅子理事、メンバー10人



2024年に現在3校ある中学校を統合します。2020年4月に新しい保育園が開設し待機児童は大きく解消されると思いますが、今後も民間の保育施設が増えてくれることを望んでいます。台風19号では被災された方がいるので、台風等の被害を想定した新たなマニュアルを作成しています。

白石市 山田裕一市長 3月10日 白石市役所
みやぎ生協 佐藤由紀理事、メンバー2人



今年は教育改革元年と位置付け、学力向上プロジェクト事業を行っています。学級づくりや人間関係作りの調査、教員の指導力向上の研修会により、小中連携が充実し成果が現れています。新規事業として、暗唱読本を作成し表現力や思考力を養う取り組みも行っています。

多賀城市 菊地健次郎市長 3月17日 多賀城市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー3人



メンバー集會室で行っている包括支援センター主催のサロンは引き続き継続し、協働の見守り活動としてその様子を広報誌で紹介したいと思います。みやぎ生協の子育て支援企画の案内を市役所で設置紹介していきます。また市民がみやぎ生協を利用している様子を広報誌で紹介します。

みやぎ生協のめざすもの

わたしたちは、協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、平和で持続可能な社会を実現します。

〈県議会議員懇談会の様子〉

宮城野区

1月20日 みやぎ生協高砂駅前店

大内真理議員、庄子賢一議員

みやぎ生協

反畑明実理事、早坂真美理事、松木弥恵理事、緑上浩子理事、メンバー26人



児童虐待による相談件数が全国的にも増えていることもあり、宮城県内に4カ所の児童相談所に現職の警察官を3人配置しています。仙台市の児童相談所は警察OBも対応しています。

青葉区・泉区 合同

1月23日 みやぎ生協黒松店

青葉区 遠藤伸幸議員、金田もとる議員、菅間進議員、ゆさみゆき議員

泉区 小畑きみ子議員、庄田圭佑議員

みやぎ生協

石川宣子理事、齊藤秋花理事、反畑明実理事、早坂真美理事、メンバー59人



子どもの貧困を放置すると40兆円の社会的な損失になるといわれていますが、宮城県は子どもの貧困のデータを取っていません。高齢者福祉施設はできたのに介護人材の不足により運営ができないため、カンボジアから年間20人を受け入れようとしています。

加美

1月22日 加美やくらい文化センター

高橋啓議員

みやぎ生協

石川雅子理事、メンバー7人



「新・宮城の将来ビジョン」について、SDGsの視点を取り入れて2021年のスタートに向けて策定中です。新たに社会全体で育む宮城の子ども・子育てを柱立てし、取り組みを一層進めます。

若林区

1月27日 みやぎ生協南小泉店

福島かずえ議員、三浦ななみ議員、渡辺勝幸議員

みやぎ生協

松木弥恵理事、メンバー20人



台風19号の被害をみると内水氾濫の対策が不十分といえます。ポンプや排水場の整備は進めていますが、用水路や河川の対策は進んでいません。県や市や組合が縦割りで対応するのではなく全体で迅速に進めていくことが大事です。

遠田

1月22日 美里町駅東交流センター

佐々木功悦議員

みやぎ生協

石川雅子理事、メンバー12人



自然災害対策調査委員会に所属していますが、常に災害と災害の間に生きているという認識で備えているという議論をしています。雨水や排水の対策は計画性をもって取り組まないといけません。

太白区

2月6日 カメイアリーナ仙台

石田一也議員、岸田清実議員、横山のぼる議員

みやぎ生協

藤本富江理事、吉原直美理事、メンバー65人



県では上水道、下水道、工業用水が民間で運営されることになりましたが、今後も水道事業に関心をもち県民としての意見を出してください。県立美術館の移転についても、今後來館者をどう増やすのかなど住民のアイデアも出してほしいと思います。

大崎

1月23日 みやぎ生協古川南店

佐藤仁一議員、中島源陽議員

みやぎ生協

石川雅子理事、メンバー39人



台風19号被害の再建や河川の堤防の整備に取り組みます。補正予算は2月議会で次年度分を決めます。今回の台風では河川の決壊、越水がありました。河川の雨量の想定が西日本より低いので、今後見直していかなければなりません。

〈仙台市議会議員懇談会の様子〉

青葉区

1月23日 みやぎ生協黒松店

鎌田城行議員、佐藤わか子議員、すげの直子議員、ひぐちのりこ議員、
村岡貴子議員

みやぎ生協 石川宣子理事、齊藤秋花理事、反畑明実理事、早坂真美理事、メンバー58人



買い物のついでに気軽に相談できるようにと仙台市の街中に「行政困りごと相談所」が出来ました。国の行政機関や宮城県、仙台市、宮城県警察本部、弁護士、行政書士などの協力を得て、様々なことが無料で相談できるようになりました。

宮城野区

1月30日 みやぎ生協榴岡店

佐々木真由美議員、高見のり子議員、辻隆一議員、渡辺博議員

みやぎ生協 反畑明実理事、早坂真美理事、緑上浩子理事、松木弥惠理事、
メンバー34人



仙台市では2018年から社会福祉協議会と連携し、子ども食堂への助成金制度を行っています。子どもへの食事の提供に加え、学習支援、交流、遊び体験等の子どもの居場所づくり活動を行っている団体への支援です。

若林区

1月27日 みやぎ生協南小泉店

猪又隆広議員、菊地崇良議員、佐藤正昭議員、庄司あかり議員、
鈴木すみえ議員

みやぎ生協 松木弥惠理事、メンバー29人



台風19号の内水氾濫の住宅被害に対する支援がないです。氾濫した農業用水路や河川の整備はますます必要となると思います。また自治体による個別支援の整備を進めていかなければなりません。避難所となっている学校の老朽化も早く着手する必要があります。

太白区

2月3日 カメイアリーナ仙台

いのまた由美議員、嵯峨サダ子議員、高村直也議員、千葉修平議員、
沼沢しんや議員

みやぎ生協 藤本富江理事、吉原直美理事、メンバー76人



太白区には7カ所の子ども食堂があります。仙台市社会福祉協議会のホームページには各区にある子ども食堂を紹介しています。また食堂マップで場所を確認することができ、子どもの居場所づくりに取り組んでいます。

2019年度首長・議員懇談会のまとめ

1. 28自治体で首長懇談会を開催しました。台風19号の影響（丸森町）や新型コロナウイルス感染症による中止（大崎市、仙台市）により、店舗のある自治体すべてで開催できませんでした。
2. 議員懇談会は県議、市議とも改選後に開催したことで、新人の議員11人が参加し、みやぎ生協の取り組みを理解してもらった機会となりました。日程設定の調整が悪く、仙台市泉区の市議懇談ができませんでした。
3. 国会議員との懇談は秋葉賢也衆議院議員（自由民主党）と行い、災害支援活動について意見交換、国の支援について声を届けました。
4. 誰もが安心してらせる地域づくりの取り組みについては、台風19号による被災状況の確認や水害による避難所運営、避難情報、ハザードマップ作成など災害の備えについて懇談した会場が多くありました。
5. 子育て支援の取り組みについては、それぞれの自治体で特徴ある支援の取り組みがあることがわかりました。2020年度からの子ども・子育て支援計画を立てている自治体が多く、新たな支援計画について引き続き懇談する必要があります。
6. 県議懇談会ではほとんどの会場で宮城県の水道事業「みやぎ型管理運営方式」について懇談しました。